

平成6年7月にオープンして、12年が過ぎ、蔵書は22万冊を越えました。その間、お迎えしたお客様は延べ3,115,683人、貸出冊数は2,170,249冊。図書館のある町に住んで、本のある生活、読書の楽しみを味わって頂けたのではないのでしょうか。

町村合併後、平成15年に「加美町小野田図書館」が開館して、人口27,000人の町に、図書館が2館あり、貸出、返却、予約等、大変便利に、図書館を利用できます。独立館なので、1枚のカードで両方から借りられます。2館の特徴を生かし、図書館サービスを展開中です。

「こんにちは」「ありがとうございます」を合言葉に、職員10名(内非常勤5名)で、レファレンスも皆で知恵と力を出し合い、利用者親しみやすい相談窓口を目指しています。

他の機関との連携事業を行い、図書館の名を売り込みます。例えば、市民団体主催の講演「谷川俊太郎、風の便り」に合わせ図書館の展示室に「谷川俊太郎特集」で蔵書展を開催します。チラシにも図書館を宣伝してもらおう。他に「BMキャラバン隊」「音訳サービス」「ブックスタート」「カンガルー学級図書館体験」「お話し会」等、本と出合うチャンスを数多く、連携で広げています。

館内は、入り口に新刊、季節のお勧め本コーナー、中央に雑誌、新聞でくつろげる場、児童書、一般書もフリースペースで、音漏れが欠点ですが、本

を探すための動きやすい空間です。木のぬくもりは、居心地の良い、町一番の施設です。お金もかからず、読書の自由が保障された町民の砦を、守り、PRに努め、皆さんをお待ちしています。



加美町中新田図書館

- 蔵書冊数：221,307冊(平成18年4月1日現在)
- 貸出冊数：161,273冊(平成18年4月1日現在)
- 開館時間：火～金曜日 10:00～18:00
土・日・祝日 9:00～17:00
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日・祝日の翌日・月末館内整理日 特別整理期間(2月中旬～末日)・年末年始(12月28日～1月4日)
- 交 通：東北新幹線・古川駅から
宮城交通バスで26分
加美町西町バス停留所から徒歩10分
東北自動車道古川ICから20分

住所：〒981-4253
加美郡加美町字大門176
TEL：0229-63-6100
FAX：0229-63-2977

ホームページ：<http://www.town.kami.miyagi.jp/>
メールアドレス：nakalib@town.kami.miyagi.jp

わたしのこの一枚

My Favorite Music

『O SOLE MIO FAVOURITE ITALIAN SONGS』

テノール：LUCIANO PAVAROTTI

(ポリドール株発売) レーベル・ロンドン CDナンバー POCL5030

憧憬

仙台市 平野 勝男

橋の欄干に彫像が建つサンタンジェロ橋を渡ってテヴェレ川を横切る。右手にみどりの日傘を差したテーブルが並ぶ客のいない青空カフェを通り、狭い石畳の通りをナヴォーナ広場に向かって歩いていた。

道の両側には、遙か昔の建物が並んでいる。いまでも集合住宅として使われている3階あたりから男の歌声が聞こえてきた。

そこに住んでいる住人の声なのか、あるいはレコードなのか。オペラのアリアの一節のように聞こえた。

イタリアだ。ついに来たんだ…。

たしか、あれは、昭和30年代後半、中学時代の仲良しグループは、高校をま

もなく卒業という時になっても、別れられずに行き来していた。

仲間の一人、女の友人は、「ステファノは、いいわ。特にカタリ・カタリは、最高。」と言いながら、ナポリ湾の俯瞰の写真が印刷されているジャケットからレコードを取り出して僕らに聞かせた。

それは、いやに甘ったるく感じた。「行って見たいな、イタリア」彼女はつぶやいた。

…あれから30年。暑い7月のローマ。カラカラの遺跡では今年もオペラが開催され、パヴァロッティも出演するとか。

現在、県図書館でボランティアをしているが、音と映像のフロアでは、ブラムスやモーツァルトが、「君、君のあの時を写し出してあげましょう。」と言っているようにも思えるのです。どうですか、あなたも。

図書館からのお知らせ



INFORMATION

特別展「きらめく叡智と美のしずく展Ⅶ」を開催します

3ページでご紹介している「宮城県漁具図解及び略解」や古絵地図レプリカなどを展示し、本館が行っている「貴重資料修復保存事業」への取り組みをご紹介します。

- 期 間 平成19年3月3日(土)から5月13日(日)まで
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
- 場 所 2階展示室
- 入場は無料です。
- 問い合わせ 企画協力班 電話022-377-8445

子どもの本展示会を開催します

図書館・学校・家庭などでの「子どもと本の出会い」に役立ててもらうことを目的に、昨年出版された子ども本約1500冊のほか、赤ちゃん絵本などを展示します。展示資料は手に取って自由にご覧いただけます。子どもの本選びの参考に、ぜひご来場ください。

- 期 間 平成19年4月25日(水)から5月6日(日)まで
(図書館開館日の午前10時から午後4時30分まで)
- 場 所 2階ホール養賢堂
- 入場は無料です。
- 問い合わせ 子ども図書室 022-377-8447

表紙エッセイ／内館牧子さん



うちだて・まきこ 脚本家。1948年秋田市生まれ。武蔵野美術大学卒業後、会社勤務を経て脚本家に。NHK朝の連続テレビ小説『ひかり』『私の青空』、大河ドラマ『毛利元就』など多数の脚本を執筆するほか、小説・エッセイの分野でも幅広く活躍している。2000年より(財)日本相撲協会の横綱審議委員を務める。また2003年には東北大学大学院文学研究科に入学、2006年3月に修了。大学院在学中の2005年には同大学相撲部監督に就任。

ことばのうみ

題字 作家 高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889～1891年刊行)に由来する。

第24号 2007年3月発行

〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441 (代表)
FAX022-377-8484
ホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

編集・発行

宮城県図書館

デザイン/印刷 仙台共同印刷